

平成30年度 学校自己評価表 米子松蔭高等学校

学校教育目標 「社会で真に役立つ実践的な人材の育成」
① 自主自立の精神の涵養 責任と義務を尊重しつつ、自ら進んで目標に向かって努力する精神を養う。
② 人間性の陶冶 規律を守るとともに、人の苦しみや悲しみを正しく理解し、適切な行動のできる豊かで調和のとれた健全な人格の育成をめざす。
③ 勤労を尊重する精神の育成 勤労を尊重する精神を養い、社会に貢献しようとする意欲を育成する。
④ 進路指導の充実 生徒の興味・適性・能力を尊重し、適切な進路の決定ができるよう指導の充実を図る。
⑤ 学習指導の充実 わかりやすい授業を心がけ、生徒の適性に合った指導に努める。
⑥ 生活指導の充実 生活面の指導を大切に、正しい服装容儀、規律ある生活態度で生きる姿勢を育成する。
⑦ 部活動の充実 顧問と生徒が目標に向かって共に努力してゆく中で、協調性・責任感・忍耐力を養う。

本年度の重点目標
建学の精神に基づく特色ある教育を行い、社会に有為な人材育成に努める。知・徳・体のバランスがとれた人作りを目標とし、学習指導、生活指導、部活動に力を入れる。生徒の肉体的成長を促し、生徒・保護者の夢につながる進路指導を行い、その成果により本校の社会的評価が高まり、本校が発展することを目標とする。

評価について A 達成できた B 概ね達成できた C やや不十分な点あり D かなり改善の余地あり E 全く不十分 () 評価せずまたは 評価できず

学年分掌	平成29年度末の状況	平成30年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
総務	<ul style="list-style-type: none"> ○ 松萌会活動をより活発にするために、事業の見直しや専門部の統合について議論を重ねている。 ○ メール配信システムの加入率が中間評価時より増えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 松萌会の各事業への参加者を増やす。 ○ メール配信システムの加入者を増やす。 ○ 入試業務、渉外集計業務を円滑に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門部の統合を進め、各事業の充実を図る。 ・ 定期的に参加状況をチェックし、担任の先生を通じて未加入の家庭に呼びかける。 ・ 入試については、確認作業を徹底する。渉外集計業務については各部署との連携を密にする。 	<p>C</p> <p>C</p> <p>()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業実施のための計画段階である。スムーズな運営のため、松萌会役員との連携を進める。 ○ 引き続きチェックを行い担任の先生を通じて未加入家庭に呼びかける。 ○ まだ本格的な活動ができていないので評価できず。 		○	○
生徒募集		<ul style="list-style-type: none"> ○ 志願者数の増加と入学者の確保 ○ 開かれた学校づくりの推進と学校ブランディング 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンスクール、学校見学会の充実と参加人数の増加 ・ Webの充実 ・ SNSによる情報発信とWebへの誘導 ・ 学校PR動画の作成 	<p>B</p> <p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回オープンスクールは申込生徒数144名・保護者72名の計216名であり、前年度比20名増であった。(当日欠席生徒7名)。第2回(10/13実施)も参加者数増を目指す。学校見学説明会は一学期3回行い参加数は29名(保護者含む)であった。二学期は2回を予定している。 ○ 新しいWebページが開設され、SNSと共に稼働状況は良好である。閲覧数も確保できている。学校PR動画を作成し広報に取り入れることができた。今後は新しいテイストでより有効なPR動画の作成を試みる予定である。 		○	○
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ○ (教務) 生徒による授業アンケートの実施や、相互授業見学など学習指導の充実に取り組んだ。学習指導要領改訂に向け、より魅力的でわかりやすい授業を展開するためにICTの積極的な活用を模索したい。 ○ (図書) 授業支援の回数増加、レファレンスの充実を努めた。生徒・教職員に迅速な資料提供をすることができた。利用者にメリットが実感できる、使える図書館を目指して取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導の充実をさらに図る。 ○ 授業時間の確保に努める。 ○ 朝読書企画の定着を図る。 ○ 授業支援のさらなる回数増加、内容の充実を努める。 ○ 図書館の広報活動の充実を努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ICTを活用した授業」をテーマに研鑽をつむ。生徒による授業アンケート、相互授業見学は継続して実施。 ○ 月間・週間計画、日課の調整や変更を迅速に行う。 ○ 生徒の自発的な活動となるよう、クラス役員に協力を求める。 ○ 図書館ならではの授業支援を行う。生徒の思考を助けるツールやパスファインダーなどを作成、提供する。いつも生徒の気持ちに寄り添った支援に努める。 ○ 図書館でできることを生徒・教職員にわかりやすく、魅力的に広報する。担当職員は情報発信の頻度を上げるようにする。 	<p>B</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>A</p> <p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月に第1回授業アンケートを実施した。より良い授業を展開するための授業見学もできている。2学期以降は「ICT活用」について考えたい。 ○ 特別活動やホームルーム活動を充実させつつ、授業時間の確保ができている。 ○ 職員朝礼時間と重なるため、状況を十分に把握できない。読書の秋にむけて、有意義な時間となるよう工夫したい。 ○ 思考ツールを提案したり、どのような本が、生徒にとって使いやすいかということが一番に選書した資料を貸出につなげ、様々な資料を授業で提供することができた。 ○ 生徒と一緒に、図書館に魅力を感じられる広報に努めなければならない。授業利用も増えているため、さらに図書館を活用しやすきたい。 			

学年分掌	平成29年度末の状況	平成30年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など	
環境保健部	<ul style="list-style-type: none"> 各教室の清掃や学期ごとの大掃除などでは、熱心に清掃に取り組む姿勢が見られる。教室以外の清掃や部活動関係の清掃についても取り組みを見直さなければならない。 環境美化に取り組む意識は少しずつ育まれていると感じるが、電灯のスイッチ破損やゴミの投棄など自らの生活環境を守ろうとする意識にまだ欠けている生徒が見られる。環境美化、環境保全に取り組む意識を育てていきたい。 各講演会、研修会を行っているが、生徒が積極性に欠ける様子が見られるので、内容を吟味するとともに、環境や健康に対する意識を高めていきたい。 実際に想定した訓練ができるように工夫したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境美化、環境保全に努める 施設・設備・備品を管理する。 生徒の健康保持・増進を図る。 生徒が安心・安全に学校生活を送れるように、また、災害から生命、身体を自らの力と協力で守れるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎内外の掃除の徹底。○ 学校周辺の地域美化活動を実施する。 省エネ、ゴミの分別などを通して、環境にやさしい生活を考えさせる。 備品等を整理し、管理を正確に遂行できるよう、工夫する。 性教育の充実（1年生対象講演会）（職員研修会）救急救命蘇生法研修会 献血事業講演会 環境保健部講演会 火災避難、地震避難、津波避難、Jアラート対応、不審者対応を選択し訓練を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> C B B B 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃や美化の日、大掃除の取り組みなど校内美化の取り組みはできるようになったが、省エネ、ゴミ分別などがまだまだ不十分である。 施設の修繕箇所の報告等逐次してもらっている。備品については整理が必要。 1年生対象の性教育講演会は、実施して、生徒も性に対して真摯な姿勢で考えることの大切さを学んだ。その他の講演会などは未実施 火災避難訓練を実施した。他避難訓練は今学期中に計画実施の予定。 				
進学指導部	<ul style="list-style-type: none"> 進学説明会や進路ガイダンスについて、より効果的な時期や形式など検討したい。 指導部、担任、教科担当間の情報交換、共通理解を通じ、より適切な進路指導が行える連携の態勢をさらに強化・充実させる必要がある。 学習習慣の確立とともに、いかに学力の向上・定着を図るかについての検討が必要と考える。また、各種検定の積極的な受験を促すことで学習のモチベーションを上げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人の進学への意識を高めていき、目標設定を明確にし、進路の保障に努める。 生徒の学力(GTZ)向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 進学説明会や講演会、保護者懇談会を催し、保護者への情報の提供と共有を深める。 定期的に担当者で連絡会を設け、情報交換を行うことでより適切な指導を目指す。 必要に応じて個人面談を行い、学習や部活動・志望進路の状況を把握し、適宜指導が可能な状況を作る。 各種検定試験や模試を積極的に受験し、資格取得と自ら学習目標を設定しその達成に向け努力する姿勢を身につけさせる。 全教員の協力が必要と考えるので、各担当教科のレベル向上に加えて、進学指導に必要な知識の習得のための研修会を催す。 	<ul style="list-style-type: none"> B B 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生生徒たちは進路に対する意識が高く、各自必要な取り組みが出来ている。2学期以降は推薦・一般入試が始まり、全教員の協力により、生徒たちが希望する進路保障に努めたい。1、2年生に対しての取り組みがまだ不十分であるが、進路学習を通じて進学への意識を高めたいと考える。 外部模試での生徒の学力を教員全体で共有し、学力向上につながる指導を考えていきたい。 				
就職指導部	<ul style="list-style-type: none"> たとえ好景気であっても、評価が「A」であっても大切なことは「生徒の能力・適性に応じた受験先の指導」で企業のネームバリューではない。生徒・保護者に理解を促したい。 生徒には早め早めの方向性の確立し、夏休み中の企業見学を促す。また、好景気故に安易な内定・選定がなされないように配慮していきたい。 誰の為の勉強で、なぜ努力が必要なのかを伝えることに力を入れたい。 就職するという心構えを再度伝えることに力を入れたい。 社会に出てから生徒達が困らぬように、コミュニケーション能力育成については教員が深く掘り下げて勉強する必要がある。今後も2年生進路学習LHRの内容を強化したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人ひとりをよく理解し、能力・適性に応じた進路指導に努める。 職業観の養成に努める。 学力向上に努める。 早期退職防止に努める。 コミュニケーション能力の向上に努める。（企業が一番求めているもの） 	<ul style="list-style-type: none"> 「進路総合評価」「進路適性検査」を参考にし、担任又は就職・教育支援担当者、カウンセラー及び部活動顧問、家庭さらに関係機関との連携を密にしながら、個別面談を重ね、適切な進路指導に努める。 LHRを活用した進路学習・進路講話及び合宿、見学、体験、業者によるセミナーを通じ、生徒が自主的に積極的に自分の進路に向けて行動できるように導く。また、本年度は進路合宿の意義を教員目標、生徒目標、企業目標で熟考し、必要性の方向性を模索したい。 就職問題集・漢字テキストを配布し家庭学習を推進しながら、基礎力診断テスト及び毎週行なう漢字テストで実力を把握し、「パワーアップ講習」「就職特別講習」「就職夏期講習」等で補い、就職試験に備える。 県内外の卒業生の就職先を訪問し、追指導を行なう。また、旧担任及び部活動顧問と連携し、仕事の継続を説く。尚、在学中は内定者を対象にした校長訓話・進路講話等行ない、定着するように導く。 学校全体指導体制で行なう。昨年同様就職指導部としては早めに(2年時に)LHRなどを活用して、コミュニケーション能力の養成を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> A A B B B 	<ul style="list-style-type: none"> まだ途中ではあるが、生徒の能力・適性に応じた受験先の指導に努めている。 6月・7月での保護者向け説明会・生徒向け講和など、あらゆる機会で見学前の会社見学の大切さを説明してきた。今後も2科目受験の生徒については応募前の見学をさせたい。また今年度は1年生の「総合的学習の時間」を有効に活用したい。 学校での取り組みは成果をあげている。また、もっと家庭学習を充実させる必要がある。 残念ながら、今年も早期退職者が多かった。「忍耐力」の一言で片づけられない内容もあり、実状をリサーチする必要がある。企業の新人教育は充実しつつあるので早期退職をひとりでも減らしたい。 3年生は2年次よりLHRを利用して強化している。2年次よりスタートし始める体制はいいと思うので本年度も具体的に実行に移せるよう学年部と相談して行く。 				

学年分掌	平成29年度末の状況	平成30年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新年度より新入生合宿が廃止され学校でのオリエンテーションとなるが、今まで同様有意義なものとなるよう指導を行う。 ○ 挨拶、服装、学校規定靴の使用、校内での携帯電話使用の禁止、社会ルールやマナーの理解については、全校集会での講話や生徒指導部および担任の指導を中心に、継続して根気よく指導していく。 ○ 被害者情報の提供と注意呼びかけ、交通ルール遵守の指導を継続して行う。特に立ち番指導を強化していきたい。 ○ 引き続き関係教員との連携を密にして対応・指導を行う。 ○ ホームページ・まちこみメールを有効活用してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣を身につけさせる。 ○ 生徒が安心して通うことができるよう指導に努める。 ○ 問題行動に対して迅速適切に対処し、生徒の立ち直りと問題の拡大防止をはかる。 ○ 保護者の理解を得て、協力してもらうようにする。 ○ 学校視察を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新入生オリエンテーションを通して学校生活に早く慣れさせる。 ○ 挨拶の徹底を全校集会やルームなどで呼びかけるとともに、通学指導などで教員からも積極的に声をかけてもらうようにする。 ○ 服装規定の遵守のため服装指導を徹底する。 ○ 社会のルールやマナーを理解し守るよう指導する。 ○ いじめを許さず、見逃さない。 ○ 登下校中に事故や被害に遭わないよう安全指導を徹底する。 ○ 生徒指導は基本的に全教員で行うことを確認する。 ○ 保護者への文書配布や松萌会活動との連携を密にする。 	<p>B</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 継続してルーム、通学指導などで声をかける。 ○ 基本的なマナーについて全校集会、学年集会などで指導を行う。 ○ 様子を見て、立ち番指導を増やすなど、粘り強い指導を行う。 ○ 生徒の言動に変わった様子はないか注意する。 ○ 交通ルールについて再度徹底する。また、立ち番指導も時折行う。 ○ 再度、教員間での認識確認を行う。また、まちこみメール、ホームページを有効活用してもらう。 ○ 2学期以降予定 	○	○	
人権教育推進部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生導入学習、2年生部落差別(同和)問題学習を全体学習として行い、生徒の興味関心を高めることができた。 ○ 人権ホームルームについて、性的マイノリティーの方の人権問題を扱ったり、部落差別問題学習では人権劇を導入するなど、新しい試みを意欲的に行った。 ○ 言葉遣いアンケートは2学期終業式までに全クラス実施した。芸術鑑賞教室を人権教育講演会として実施するとともに、教職員対象の講演会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権教育のホームルーム学習を見直す。1年次人権をめぐる諸課題、2年次部落差別(同和)問題、3年次就職・結婚差別問題の学習を引き続き進める。前年度取り組んだ全体学習の方法を引き継ぐとともに、グループ別学習で学習意欲を高められるよう、資料調査・研究を進めたい。さらにいわゆる「差別解消三法」をふまえた人権の取り組みを推進したい。 ○ 言葉遣いアンケートを引き続き実施し、生徒一人ひとりが自他の言動を振り返り、心ない言葉の防止をめざす。人権教育講演会を、わかりやすく、意欲的な方をお招きして実施したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 人権学習を、全体学習として行うなど、生徒の関心・意欲を高められるよう、創意工夫につとめる。 ○ 各学年別のテーマ学習をさらに深めるとともに、グループ別学習の資料調査・活用を行い、ワークショップ型のグループ・班別学習の方法を確立したい。 ○ 言葉遣いアンケートを2学期中に実施し、3学期とりまとめ、啓発する。人権教育講演会を2学期実施に向け、講師との交渉をすすめる。 	<p>B</p> <p>()</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年生導入学習、2年生部落差別問題、3年生就職差別問題を、全体学習として実施した。また、その際、言葉遣いアンケートの結果をふまえ、人権啓発に努めた。 ○ 各学年、テーマ別に、ワークショップをワークシートを活用して行うなど、創意工夫して人権ホームルームに取り組んでいる。毎時間、目標の設定、生徒に身につけさせたい技能・資質・姿勢を明らかにして学習を進めるよう心掛けている。 ○ 言葉遣いアンケートは2学期実施予定。従って、評価できず。 ○ 人権講演会について講師先生との日程調整、校内調整に努力した。 	○	○	
教育相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の支援計画の作成について、入学後、早期に取りかかり、教職員間で作成の流れを共通理解出来る様にしておく必要がある。 ○ 支援が必要な生徒の多様化、増加に対し、引き続き学年主任の協力、情報交換の場を持つ等の教育相談、支援体制のあり方を検討。 ○ 研修の参加について、生徒理解の一助として、今後も出来るだけ多くの先生方に呼びかけたい。 ○ 教育支援・相談のコーディネーターが必要であると思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 個別の教育支援計画の推進 ○ 入学時からの連携作り ○ 学校全体として支援理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別の支援計画の作成について流れを共通理解し、早期に取りかかれるようにする。 ・ 担任と教科担任との連携深め、支援の早期対応につなげる。 ・ 教育相談・学年担当の先生方を活用・協力して頂き、生徒のニーズの多様化に対応していく。 ・ 担任、教科担当、養護教諭、外部機関(医療・福祉等)を交えた連携会議を定例化していく。 ・ 研修会・講演会等の参加を積極的に促す。 ・ SC・SW・サポステ連携を通じて学校全体としての支援理解・学びを深めていく。 	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 流れの共通理解が不徹底だった部分があったが、昨年度より早く作成することができた。 ○ 進級して学習の取り組みに悩みを持つ生徒がでてきており、教科担当との相談の機会をもっと作る必要がある。 ○ 各学年の教育相談・支援担当の情報交換を積極的に行いたい。 ○ 月に1回のペースで校内連携会議を行うことができ、また校外の関係機関とのケース会議をもつこともできた。 ○ クラッシーで研修会の案内を行った。 ○ SC、SSWとの連携は定着してきたが、連携の重要性の理解をさらに深めていきたい。 	○	○	
生徒会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度は定期的に打ち合わせや話し合いができたが、より一層、生徒会が学校の中心として活動できる環境をしっかりと作っていききたい。また、来年度より学校行事の大幅な見直しが行われ、学校祭として体育祭・文化祭が同時期に行われる。新たな取り組みとなるので、しっかりと話し合いの場を持ち成功に向けて準備を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校行事の充実 ○ 生徒会活動の充実 ○ 他分掌との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月のスポーツ祭および9月の学校祭が充実したものになるように、計画・実施をする。 ○ 各クラスの中央委員との連携を図る。 ○ 学校生活をより充実したものにするために、全校生徒へアンケートを行う。 ○ 放課後に教室点検を行う。 ○ ボランティア活動の呼びかけをし、生徒の参加を促す。 ○ 他分掌と、お互いの要請等により活動を計画・実施する。 	<p>B</p> <p>B</p> <p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7月のスポーツ祭は、台風のため初日のみの実施となった。スポーツ祭2日目、学校祭については、実施に向けて現在準備している最中である。 ○ 2学期実施予定である ○ 2学期実施予定である ○ ボランティア活動は適宜案内し、多くの生徒が参加している。 ○ 学期末懇談時に駐車場整理を行った。今後も引き続き、他分掌との連携を取っていききたい。 	○	○	

学年分掌	平成29年度末の状況	平成30年度の目標	具体的方策	中間評価	中間評価に対する改善点	最終評価	目標の達成状況	次年度引継事項・改善策など
一年部		<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 学習習慣の確立 ○ 家庭との連携 ○ 人権意識を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶・正しい服装を定着させる。 ○ 早寝・早起き、食事、健康面の管理に努め基本的な生活習慣を身につけ遅刻・欠席をなくすよう指導する。 ○ 授業に集中して話を良く聞き日頃より家庭学習に取り組む姿勢を指導する。 ○ 保護者へクラッシーの活用を促す。 ○ 学校からの配布物は必ず保護者に渡し、回答が必要な場合は必ず提出するよう指導する。 ○ 状況に応じて保護者へ連絡をとり、情報交換を行う。 ○ 学級活動や学校行事を通じてお互いを思いやる心を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> B B B C 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら挨拶ができるように学年全体で取り組みたい。 ○ 学期当初は少なかったが徐々に増えてきた。生活の乱れがでないよう指導していきたい。 ○ 授業に集中し、提出物は期限を守るように継続して指導する。 ○ 懇談会や生徒を通じてさらに呼びかける。 ○ 配布物はその都度、保護者に渡すように生徒に伝え、HPも確認してもらうよう呼びかける。 ○ 家庭との連絡がこまめにでき連携がとれた。 ○ 意識の希薄な生徒がある為、クラス・学年全体で指導を継続していく。 		○	○
二年部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの目標を達成できるよう、HRや朝の見回りを通して根気強く指導、声掛けを継続している。 ○ 遅刻、欠席が連続する場合は早い段階で声掛けや家庭との連携を行い、長期化防止に努めている。 ○ 毎日の学習習慣の定着を目標に指導を行っている。 ○ 「まちこメール」の未登録者に登録呼びかけを継続して行っている。 ○ 保護者・家庭との連携に努めている。 ○ 昨年度は配慮を欠く言動によるトラブルが見られた。互いの価値観や感性を尊重し、相手を思いやれる人間に成長できるよう指導に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の定着 ○ 主体的に学習に取り組む姿勢の確立 ○ 家庭との連携 ○ 人権意識の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「挨拶・返事」、「時間を守る」、「正しい服装」の定着を図る。 ○ 自主自律に努め、充実した高校生活を送るよう指導する。 ○ 進路について考え、授業や家庭学習に目的を持って取り組むよう指導する。 ○ 保護者との連携を深め、学校での状況や家庭での様子について共通理解を図る。 ○ 学校行事や学級活動を通し、互いを思いやり尊重する心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> B B B B 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 元気な挨拶、正しい服装ができていない生徒もいる中で、声かけに対して反応の薄い生徒も一部見受けられる。根気強く指導を継続していきたい。 ○ 遅刻、欠席が連続する場合は早い段階で声掛けや家庭との連携を行い、長期化防止に努めたい。 ○ 毎日の授業や定期考査、外部模試などにそれぞれが具体的な目標を持って取り組むよう声かけを継続していきたい。 ○ 遅刻・欠席が続く生徒や気になる言動がある生徒について、担任がこまめに家庭連絡をし、共通理解と連携を図ることができている。継続して取り組みたい。 ○ クラスを越えた交流も増え、学年としてのまとまりもできつつある。互いを思いやり、良好な人間関係を構築していくよう声かけ、指導を継続していきたい。 		○	○
三年部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も朝読書の啓発・朝の見回り・服装指導・遅刻をなくすよう継続して努める。 ○ お互いを思いやり・人権を尊重し合える学級づくりを目指し引き続き努力する。 ○ 生徒一人一人が、希望の進路につけるように、生徒・保護者との連携を取りながら面談や指導を重ねて細やかに指導していきたい。 ○ 言葉遣いや態度が荒い生徒も一部いるが、継続して指導して行きたいと思う。 ○ 3年生としてリーダーシップが取れるよう自覚を持たせ、模範的な学校生活を送れるよう心がけさせる。 ○ 学校行事やクラス運営を通して、社会性・人間性を身につけて少しずつ成長した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な生活習慣の確立 ○ 進路指導の充実 ○ 愛校心を育む ○ 社会性・人間性を養う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 欠席・遅刻のないように、朝読書の時間に見回り、始業前には全員を席に着かせる。 ○ あいさつや服装の指導を徹底する。 ○ 進路合宿を通して、目標を明確にし、それに向かって計画的に努力する姿勢を身につける。 ○ 進路懇談や説明会を通してきめ細かに対応する。 ○ 学校外でも松蔭高校の生徒であることを自覚し、恥ずかしくない言動が取れるよう促す。 ○ 登下校時のマナー・挨拶等、地域の方にも気持ちよく接する。 ○ 進路決定に向けて、互いを尊重し、協力しあう関係をつくる。 ○ 進路決定後も社会から必要とされる人材となるべく継続して指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> B B B B 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 朝礼前の担任指導の効果がかなり減った。継続して指導する。 ○ 挨拶・服装ともに学校内外でもきちんとしていくよう継続指導する。 ○ 進路合宿に関しては合宿の目標を概ね達成することができた。 ○ 懇談や各説明会を通じ生徒の進路に対し保護者との連携がはかれた。 ○ 各部活動で最高学年として各大会に臨み松蔭生としてよく頑張った。 ○ 登下校時のマナー・挨拶等、更に改善できるよう継続指導する。 ○ 就職・進学分かれるがクラス学年内で進路意識の高揚が見られた。 ○ 進路決定に全力で向かえるよう継続指導する。 			